

### 取組メニュー

現場マネジメントの工夫

施工BIM

施工合理化技術

ICT建築土工

### 【取組の現状】

#### 現場マネジメントの工夫

- **ASP（情報共有システム）の活用**  
工事中に発注者と受注者の間で交わす施工計画書や施工図等をインターネット上で共有することで、工事帳票の処理や意思決定の迅速化など、作業の効率化を確認。

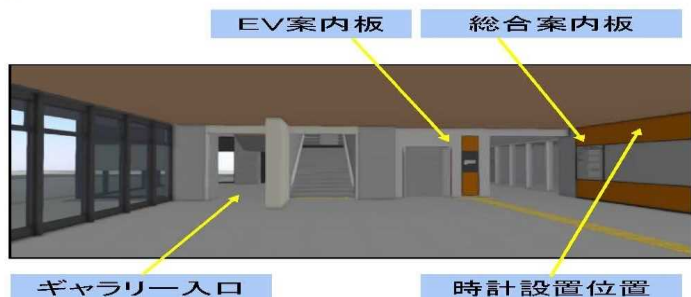
- ・スケジュール、工事打合せ書類の共有・確認
- ・履行報告（工事進捗状況）等の共有・確認
- ・施工報告（品質・出来型）による品質確認



#### 施工BIM

- 技術者の経験や知識に左右されず、干渉箇所を確実に把握することができるため、見落としがなくなる。施工前に納まりを調整できるので、施工段階での手戻りの回避につながる。

#### 【エントランス部のサインイメージ確認】



(例) サインイメージ図

#### 施工合理化技術

- ① **デジタル工事写真の黒板情報電子化**  
撮影時に黒板情報が入力されることで、撮影の省力化のほか、写真整理の効率化を確認。



- ② **地上部各階の床版コンクリートの仕上げ機械化施工（JS工法）**  
床版コンクリートの仕上げにおいて、均し、中間転圧、最終仕上げを機械化で行う工法。

#### ICT建築土工

#### MC油圧ショベルの新しい活用方法のご紹介

##### 【従来施工】



X、Yに関しては  
マーキングで位置出し  
Z（高さ）に関しては  
オートレベルで測定

##### 【スマートコンストラクション】



写真の通りスマホでは作業員が必要なくなり、人件費の削減、安全性の向上が見込める。

#### ICT油圧ショベルの特徴②

自動整地アシスト

- **自動整地アシスト**  
アーム操作した際に、バケットが設計面を掘り込まないように自動でブームが上昇。  
⇒アームレバー操作のみで仕上げ作業が可能。



レバー操作：アーム掘削  
自動制御：ブーム上げ

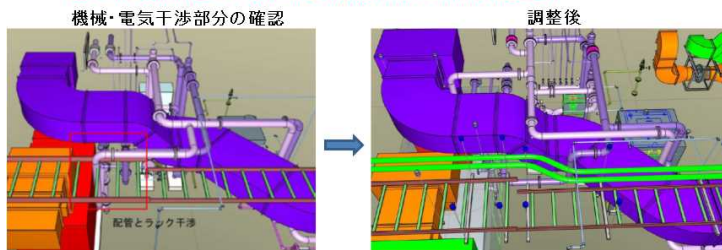


2つの自動制御機能にて、設計面への掘り込みを気にせず掘削・整地作業が可能  
適用例：溝掘削・法面掘削/整形・整地・積込等

#### 【5階機械室 天井】

#### 【データ統合による問題箇所の確認】

建築モデル (Revit) を (IFCデータ) に変換し 機械・電気設備モデル (Tfas) と統合  
【目的】3Dの視覚効果により、関係者との合意形成の時間短縮を図る。



(例) 納まりチェック